

## 患者さんへ

### 「小児・AYA 世代におけるホウ素中性子捕捉療法、 陽子線治療、Tomotherapy の放射線誘発二次発がん率の比較」

-放射線治療を受けた方を対象として-

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2013年3月より2022年10月までに当院の放射線腫瘍科でTomotherapyあるいは陽子線の放射線治療を受けた方
2 研究目的・方法	本研究では小児（～14歳）及び思春期・若年成人（AYA：Adolescent and young adult）世代（15～39歳）の患者さんにおいて、ホウ素中性子捕捉療法、陽子線治療、Tomotherapyの治療計画を作成します。そして、計算式により放射線誘発二次発がん率を算出して比較し、どの程度異なるかを明らかにすることで実際の臨床時における治療選択の際の判断材料の一助とすることを目的とし、対象となる患者さんの実際に行われた放射線治療データを診療録より取得して行います。 研究の期間：施設院長許可後～2025年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	放射線治療における治療時年齢、性別、疾患名、処方線量、処方回数、照射部位、治療計画パラメータ等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 鈴木俊介 湘南鎌倉総合病院 医学物理室・医学物理士 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717

2022年10月17日作成（第1.0版）